

仙台大豆作情報

令和3年度第2号
令和3年6月11日発行
仙台農業改良普及センター
TEL 022-275-8410

基本技術を確実に実施して、収量300kg/10a・品質1等級を目指しましょう！

生育概況

播種作業は5月下旬から本格化し、天候に恵まれ作業は順調に進みました。出芽は概ね良好です。

今回の栽培管理のポイント

- 1** 排水対策 **2** 中耕培土 **3** 追肥（培土期） **4** 雑草防除（茎葉処理）

1 排水対策

排水対策の重要な時期は、播種直後の発芽期、根粒着生から開花前までの生育前期と子実が肥大する生育後期です。生育前期は生育量が増大する生育中期を控え、根の生長と根粒の着生が重要です。根粒は好気性菌であることから、根圏を健全に維持するため、排水と管理作業による膨軟な土壌が必要です。梅雨のシーズンに入ります。降雨後はほ場を見回り、明きよの崩れを確認しましょう。

2 中耕培土

中耕培土は下記のとおり多くの効果があります。梅雨の晴れ間をみて、**必ず1回は実施**しましょう。

（1）中耕培土の効果

①直接的効果

- ・不定根による養水分の吸収 ・不定根に着生する根粒の窒素固定

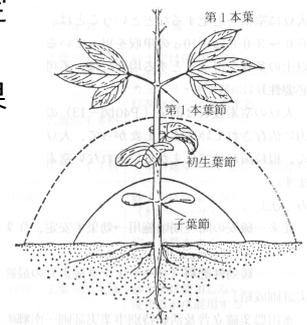
②間接的効果

- ・倒伏防止効果 ・通気性の改善 ・土壌中の水分保持・除草効果

（2）中耕培土の目安（普通播栽培）

1回目 大豆本葉2～3葉期に子葉節が隠れる高さまで

2回目 大豆本葉6～7葉期に初生葉が隠れる高さまで



【留意点】

- ・生育が進みすぎてから行くと根や茎、葉が傷ついて生育が停滞するので、開花期の10日前までに終わるようにします。

※「開花期」とは、初めて開花した株が全株数の40～50%に達した日です。

※開花期の目安 タンレイ：7月26日～31日頃 ミヤギシロメ：8月1日～5日頃

- ・高い培土を一度に行うと断根の原因等になることがあるので、培土の高さを守りましょう。
- ・高過ぎる培土は機械収穫の場合、汚粒の発生原因となるので注意しましょう。

3 追肥（培土期）

追肥は開花期から子実の肥大する時期に窒素養分吸収を維持させるものです。最終培土期（普通播栽培で7月中旬：本葉6～7枚期）に緩効性の被覆窒素肥料（40日タイプ）で追肥します。施用量は窒素成分で5kg/10aです。

【湿害時の窒素追肥】

湿害では、根と根粒の両方に障害が発生しますが、根粒のほうが湿害に対する感受性が高く、湿害は主に根粒の活性阻害によるものです。このため、生育過程で湿害を受けた場合には、**窒素追肥が被害軽減に有効**です。追肥の前にほ場の停滞水を排出し、速効性肥料を窒素成分で10a当たり3kg程度施用します。

4 雑草防除（茎葉処理）

土壌処理除草剤の効果持続期間は30日程度であり、大豆3葉期頃には効果が低下します。また、中耕培土を行うと土壌処理除草剤の処理層が破壊されます。後発雑草の優占雑草（広葉雑草かイネ科雑草か）を確認して茎葉処理除草剤を使用しましょう。

昨年は特にアメリカセンダングサの発生が目立ちました。大豆バサグラン液剤を使用する場合はアメリカセンダングサの草高20cmまでに散布しましょう。

なお、茎葉処理除草剤は散布後に天候不順が続くと効果の発現に時間がかかる場合がありますので、天気予報を確認し計画的に散布しましょう。

【難防除雑草アレチウリとイヌホオズキの防除対策】

アレチウリのほ場への侵入拡大やイヌホオズキによる汚粒の発生が見られますので、防除を徹底しましょう。

- ・アレチウリ：少数の発生でも確認できるので、侵入初期の段階で手取り除草を徹底します。
- ・イヌホオズキ：中耕培土期は個体が小さいので、中耕培土により防除が期待できます。ていねいな作業を行いましょう。
- ・アタックショット乳剤を使用する場合：アレチウリは5葉・つる化前まで、イヌホオズキは草高10cmまでを目安に散布しましょう。



アレチウリが繁茂したほ場

※記載した農薬は令和3年5月12日現在のものです。使用する際は農薬ラベルで登録内容を確認してください。

東北地方の向こう1か月の天候の見通し（6/10 仙台管区气象台発表）

予報のポイント

- 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- 平均気温は、高い確率50%です。

■農薬危害防止運動が始まりました（令和3年6月1日から令和3年8月31日まで）

- ・農薬容器のラベルをよく読みましょう。
- ・農薬散布時は風向きや気象条件に注意し、周辺環境や近隣住民に配慮しましょう。
- ・農薬散布作業中・作業後の事故に注意しましょう。
- ・農薬の容器を移し替えたりせず、鍵のかかる場所に保管しましょう。
- ・散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょう。

次回「仙台大豆作情報第3号」の発行は、8月上旬を予定しています。